



第22号

発行所 香川自治会
広報委員会
印刷横濱プロジェクト
045(711)0672

自治と市民の暮し

◆今年の展望

亀井隆義

最近の新聞やテレビが報道しているように、四十七年度は、国鉄・バス・タクシー・電気など多くの公共料金が増え、値上げされることになりそうである。

政府は過去の経済成長一本槍の政策を改めて、内政を重点に景気浮揚と国民福祉をうたって、十一兆円をこえる大型予算を成立させ、切り抜けようとしているが、こうした政策転換だけで、長期化を予測される不況脱出の決め手となるかどうか。

そうした一連の政治の動きについて、私たちの住むこの茅ヶ崎市の財政事情がどう変わり、公共事業はどう進められてゆくか、納税者である私たち市民にとって、税金のゆくえがどうなるのか、そして市民生活がどうなるのか、ここ暫くの動きに注目すべきだろう。折しも目下市当局は四十七年度の予算案の編成最中であり、自治会としても、道路の新設・改良や舗装・排水の問題・PTAから陳情の小学校の増築等のほか用途地域の決定などもあって住民と市政の関係が日増しに身近かに感じられてきていることを知らなくても、これからこの動きを知っておく必要があるのかと考えられる。

◆予算と市民

昨年八月のドルショックは、全

国的な景気に敏感に反映し、税収のゆくえが心配されてきている。市の歳入の大宗は市民税(法人・個人)と土地や建物にかけられる固定資産税である。ドル問題以来、地方都市でも新潟県の三条市のようにその八割の市民が金属食器の輸出に頼っていたり、愛知県一宮市のように全国輸出毛織物の八割を生産しているところなどは大変な騒ぎになっている。

当市には金属タンヤネッカチーフなどのような対米輸出企業もあるが、輸出一辺倒の他の都市と比べるとこうした面での影響は僅か一社に止まっている。

しかし、どの企業も求人を手控えたり、残業が減ったりして、そうした一般的な不況から、年々二〇%以上も伸びてきた税収は、来年度は期待できず、四十六年度の当初予算の一般会計約四十億八千万円を、ほんの少し上廻る程度で、その中味も、人事院勧告による人件費の一・三割(約二億円)アップなどもあって市民のための公共事業費はむしろ減る恐れさえ出ている状態にある。

おかしな事だが、不景気になる競輪の売り上げが増える傾向にあるが、ギャンブルは止めるべからず、競輪の利益に期待することからみると、競輪の利益に期待することからみると、やはり国・県等の地方財政健全化への配慮が、こうした財政事情

◆市街化区域農地の宅地なみ課税

反対の動き

近頃新聞紙上などにも問題となつてきている市街化区域内の農地に対する宅地なみ課税にたいし、猛烈な反対運動が展開されていることは皆さんもご存じのことだと思

これは、四十五年六月に都市計画法によって、市内の土地が線引きされ、市街化区域と調整区域とに分かれたのであるが、この市街化区域の農地にたいし、四十七年四月からA、B、Cの三つのランクをつけて、五十五年までに宅地なみの税金をかけるという、地方税法が改正されたので、この課税のための市条例の成立を阻止し、不合理な地方税法を再改正せよというところで、農地課税が一斉に蜂起したわけである。

これは、四十五年六月に都市計画法によって、市内の土地が線引きされ、市街化区域と調整区域とに分かれたのであるが、この市街化区域の農地にたいし、四十七年四月からA、B、Cの三つのランクをつけて、五十五年までに宅地なみの税金をかけるという、地方税法が改正されたので、この課税のための市条例の成立を阻止し、不合理な地方税法を再改正せよというところで、農地課税が一斉に蜂起したわけである。

下・排水の施設など環境施設の追加工事決まる

さる十二月発行の香川ニュース第二〇号(十七号は誤植)で、同時点までの自治会事業の概要を報告しましたが、その後も環境施設の整備について引き続き市当局と折衝してきた結果、本年度内に追加工事の決定をみた事業、その他今後の見通しなどは次のとおりである。

(1) 都市下水路の施設
一、原地区二五〇番地付近山口屋前より南、亀井千代春氏宅裏通り五二三番地付近まで約四百米、

(2) 本年度内施工のことに決定。
① 中道地内から小出川に至る間の排水路改修は、明年度中に流末部分より改修を行うこととし、目下県に対し事業費補助申請中で、この決定次第、明年度予算に計上予定。
② 大山街道西久保地区境尾島商店付近の排水不良箇所については、県に要望中のところ十二月二十四日付をもって早急に改修を行うことに県知事より自治会へ回答があった。工事内容の詳細は不明であるが、多年の不安は解消されると思う。

(3) 間門線道路夏海氏宅付近危険箇所については、高さ八米の横断歩道安全灯(一四〇W)一基を、地主亀井精一氏の厚意により二月中に取付けることに決定。
② 香川駅南北両踏切付近の高燭街路燈は地主、新倉健氏並びに熊沢力蔵氏の厚意により二月中に取付け確定。
③ カイブリラーの未決三ヶ所については、南地区江崎ブリ店前・原地区山口屋商店向側空地、東地区金子薬局前、それぞれ地主岡本多助氏、花元清重氏、小松田和二郎氏の厚意により二月中旬までに設置確定。

住民の反省と協力も必要

埋金一郎

かつて池田内閣時代に、将来の日本の繁栄が説かれ、国民所得倍増政策を聞かされた当時、私達は半ば疑心もちながらも、これに淡い希望をもったものである。しかしそれがたまたま、まことに多量な生産、大量消費の時代になり、大量のゴミが排出されるようになった。昭和十五年ごろから、企業サイドによる「消費の美德」とか、「浪費の時代」といったニュアンスの大キャンペーンがはじまり、いわゆる大量生産、大量消費の時代になり、あらゆる身のまわりのいろいろな品物が豊富になり、さらに四十年ごろから自動車、電気冷蔵庫といった、耐久消費財も簡単に購入制度の発達とあいまって、本格的に普及しはじめた。今日では一人当たり生活面でも豊かになってきていることは事実である。

しかし、このような繁栄の一面ばかりでは、数年前から全国各地(日本は大きくクローズアップされ、そして今日では各事業所や家庭から出

るゴミの問題が、大きな社会問題となり、大気・水について今や第三の公害とさえいわれ、各都市でこの処理対策に大わらわの状態である。近い話が、東京都はゴミ戦争を宣言したが、新たなゴミ処理場の建設計画も、付近住民の反対で、頓挫している。これなども地域全体としてはどうしても必要な施設であることは理解できても、そんな汚ないものをわが家の、われらの地域に置かれては困るといふのが住民側の主張である。このように繁栄の副産物というか、虚像のような部分の問題が、あとへと押しやられて、都市行政におけるアンバランスの拡大は、際限なく拡がっていくように心配される。

このゴミ問題は、地方自治体とも今や大きな悩みで、それぞれに行政対策や市民への指導、PRに最大限の努力が払われている。殊に市の場合、これらの都市ゴミを収集し処分する責任を課せられているので、ゴミ問題のあらゆる苦難がここに集中するから、一層の努力が要請される。また、これに要する経費も、大部分が市民の税金で賄われるが、莫大な額である。勿論市政は市民に奉仕するものであるから当然としても、このままの状態を進むなら、貧弱な市政をますます圧迫するようになり、国民生活の向上に伴ってゴミの種類も多様化してきており、その処理を複雑困難なものにしていく。ゴミ問題処理に対する抜本的な解決策もいろいろと論ぜられているが、何れにしても基本的には、ゴミを出す側の住民の一層の関心と協力が必要である。

さて、わが香川の場合どうであろうか。① ぎれられた場所以外のところの乱雑に投棄されているもの。② 収集の翌日から早くも持ち込まれてしまうもの。③ 農業用水路に器物を投棄されているもの。など他人に迷惑をかける不心得の方が、多いのは嘆かわしい。

収集場所は文字通り持ち寄り場であり、ゴミ捨て場所ではない。単なる清潔な香川の街づくりが、互いにこのようにならないよう、先ずおたいものである。

浄心寺庫裡が落成

新任職も参加して祝う



〔新任職を囲んで祝宴〕



〔落成した庫裡〕

一月九日(日)午前十一時から浄心寺で、庫裡の落成を祝って、初題目が行われた。

絶好の晴天に恵まれ、高田の本在寺住職をはじめ、住職が四名列席、おごそかに読経した後、壇徒数十名が順次回向し、先祖の霊を弔った。この後、続いて熊沢次次建設委員長から経過報告があり、熊沢健之助氏が会計報告を行なった。また浄心寺建設にあたって東奔西走された故熊沢三氏の功績を永く残そうと、肖像額が本堂に掲げられた。「これは異例のことで、最初で最後のことだから」と、熊沢次次氏が諒解を求め、全員一致で賛成、了承した。

俳句を作る喜び

間門 柳田ふじ子

湘南先生の御指導を得て、俳句を始めて早くも五年目の春を迎えました。振りかえれば時の文化部長岡本定雄様の御理解を得て、回覧を出して頂き、特に「初心者ばかりです」とお書き添え下さいましたことを覚えております。俳句の世界には富も地位もなく皆同一線上に並びます。俳句のお友達とは裸のおつきあいが出来、す。一切の見栄や思惑は無用です。鉛筆一本で全く自由な世界だと思えます。俳句を始めてとても良かったと思うことは、人の考えは十人十色、一つの句に対しても受取り方は皆違ひます。自分だけの考えにとどまらず、少くも自分の気持ちで表現できた喜び、それは作者でなければわからない満足感だと思います。茅花会の皆様は毎日の生活を正直に詠じておられます。その作品を通して喜びや悲しみが動作となり声となって伝わってくるような思いです。私の家の前を行

きつ戻りつして「御主人には見えないでね」と断って投句なされた方々も、今では堂々と近郊の句会に出席しておられます。見知らぬ方から賞讃のお言葉を頂くこともございます。でも会員の方達は全く無心です。会が持続している一番の原因はこの辺にあるのかなあと思えます。俳句によって信じあえる幸い、わかりあえる喜び、生きていくの幸を痛感します。一人でも多くの方の御投句をお待ちしております。

茅花会によせて

東 大胡悦子

歌心のない私も入会して満一年を迎えました。何も知らぬ童子のように無心に字を並べた私。一年を回顧して身の程知らず程恐ろしいものはないと我が身を恥づかしく思うと共に、今こそ心して人生生活豊かな俳句を学びたいと年頭に当って願っています。人生は日々の積み重ねで、今日という日は二度と帰らぬ大切な一刻だと思えます。これを悔いなくすごそうと年寄のくせにいうのが欲張っております。十七字にすぎた心の訴えが出来た私になれたらどんなに素晴らしいのかと俳句にしがみついています。真夜中にふと目覚めた時、大声で駄句を口走ったとて誰憚る事のない一人暮らしは淋しくも又楽しいものです。余生を生花と俳句で心静かに希望をもって頑張るってゆきたいと思

和やかに初句会開く

老いゆたか晩年の夢一人旅

一月二十三日(日)、午後十二時から、「こし石」で茅花会の初句会が行われた。あいにく亀井湖南先生は御病気のため欠席だった。柳田ふじ子氏はじめ十名が出席。兼題の初空、三ヶ日、風花の句を提出、互選しあい、それぞれ鑑賞批評を行ない、句の制作事情やテーマの説明などを行ない、奥行き深い俳句のおもしろさ、一字一句もおろそかにできぬむずかしさなど、和やかに話しあい、よい勉強会だった。

個人の城

中通り 戸羽生

知人を訪ねて田園都市線にあるニュータウンへ行ってみた。さすが「高級住宅地」というだけあって、整然とした街路、メインストリートは並木路だし、歩行者専用

道路、小公園など表向きは立派なものだ。家々もいよゆるエリート族が優雅におさまるにふさわしいような、まるで豪邸コンタクトだ。しかしこれは遠くから見ただけの話。駅から十数分歩くと、風に舞う紙屑やプラスチックの空袋からコーラの空瓶、歩道のコンクリートの間からは高く伸びた雑草とともまともな草とさえええできない。後で知人の家へ聞いたが、ゴミの集積所へは収集日などおかないしに車を乗りつけてゴミを捨ててゆく手合もいて、後で掃除なんかするはずもないから、気の毒に友人の家人がブスブスいながら後始末にゆくはめになってい

茅花会

初句会集

- 初空は雲なく富士があるばかり 間庭 蘇山
- 初空に大山丹沢威を正す 蘇山
- 初空にひととき深く息を吐く 客となり生花ありて三ヶ日
- 人のみな心豊かや三ヶ日 餅を引くねずみも休みや三ヶ日
- 風花を眉に簪し今合戦 風花の舞へば獅子また狂ひ舞う
- 風花の押し入る土間の隙間かな 長島 久江
- 初空へ届きそうなり神の杉 風花の下枝の子等もはしゃぎ来る
- 巫女として札売るバイトの三ヶ日 風上りの糸引く親を追い子供
- 父を追う白息流しベタル踏む 酒井なを江
- 初空に富士真白なる峰見せて 終日を一家団らん三ヶ日
- 風花やバスに乗客まばらなる 三ヶ日吾子はくりやを手伝へり
- 風花や故郷の母恋しき日 風花や踏切り番の息白し 百合子
- 古い母の化粧し給ふ三ヶ日 初空阿夫利嶺の髪濃紺に
- 風花や婆の柩の軽きかな 初空富士裾野まで展がれり
- 亡き姉の匂ひ袋や風花す 沓沢 みや
- 救急車窓辺過ぎゆく二日かな 帰省せし子も戻り行き三日暮れ
- 風花のまつげに止まりすぐ消えて 風花や客は帰らず酒買いに
- 外出も何か物憂き三ヶ日 外出も何か物憂き三ヶ日
- ようよう薄日のぞきて初御空 拍手の高く響きて初御空
- ふるふきの煮える間の句作かな 四方山や明けたばかりの春の色
- あかあかと年あけそめて賀状来る 元日を祝ふ集雲やわらかき
- 千代千代と雀遊ぶもあけの春 風に乘る一羽の鳥か奴風
- 子の手まりはずみて霜のつげの下 風花や人黙々と乗り降りす 藤村 球子
- 二杯目のコーヒー外は風花す 父に似る母に似る孫三ヶ日
- 嫁の爛程よし老の三ヶ日 てっぺんに鳥かまえし初御空
- 初御空誓うことなき齢かな 友よりの賀状にほころぶ子の笑顔
- 人垣に埋もれる神や三ヶ日 初空や定年の父意気新た
- 初空や晴着の娘行くしぐるるな 街燈の光つめた夜凍る 柳田ふじ子
- 松の内働く女薄化粧 天地の一瞬澄みて初日の出
- 夫と居てはや惜しまるる三ヶ日 静かさにこもりて過す三ヶ日
- なんとなく手つかぬままに三ヶ日 老夫婦笑顔に和して三ヶ日
- われ八十路炬燵に昏れて三ヶ日 三ヶ日何はなくとも厨妻
- くったくもなく三ヶ日過しけり 風花の陽筋明るく昏れなむ
- 風花に阿夫利おろしのまつわり来 丹念に日記書きけり三ヶ日

「茅花会」同人たち



「借金のことなど」 合理的な借金をして豊かな生活を

中通り 野原康太郎



額が各産業、例えば自動車業界・住宅業界の業績の良否を決定するといっても過言ではないほど利用されている。即ち個人に対する貸付も日本との比ではない。そのかわり個人の信用調査機関は、非常に発達している。日本でも金融機関をはじめとして、月賦会社、サラリーマン金融等が中心となり、個人の信用調査を急いでいるが、前途多難の状態である。

この間、NETアファタマーンソンで、経済評論家の斎藤栄三郎さんと「借金は損か得か」について対談をしたが、結論からいって「利用目的、返済計画が確実なら得である。即ち借金の金利より諸物価の値上りの方が、はるかに大きいからである。今や全国民の九〇%以上が広い意味で借金をしているが、ガス・電気・電話料など（後払いのため）数え挙げればきりがなく、しかし借金も昔と違い、お金がないから借りるというより預金はそれぞれ持っている、その上

詩

ひとりごと

東 大胡悦子

わたしは風が嫌い
冷たい木枯らし

横しまを風 意地悪な風
砂ぼこりを立てて私の髪を
バラバラにしてしまおう
風なんか吹かない方がいい
風なんてどうして吹くのかしら
まして浮世の無情の風は
命までも奪い去る
ああ嫌な風
私は風なんか大嫌い

短歌

鳥生喜志代

新婚者らの華やぐ聲も加はりて年祝ぐ卓は夜の更くるまで
久々に若き娘がある正月は客等の顔にも笑みのあふるる
若き娘の優しき酌に年賀客己が子の自慢繰返し
箱あけて特大みかんを御仏に供へ次を分ちて夫と味ふ
移り来て親しみ増せし両隣へ故郷のみかんと誇りて配る
春來しをよるこぶ聲か山鳩がわが杉の木に高啼きてをり
友の弾む聲「私の家にも電話がきました」持つ受話機に響
き渡りつ
我少女の日母が手織の赤白黒の縞の着物ありき今日同じ柄着
る人がバスにゐる
夜來の雨晴れて今朝の旭光向うの山並くまなく照らす
亡き母が記してくれし灸あとに肩やむ今宵夫が灸すゑくるる
子等は皆速くに住みて夫とわれ毎毎の卓にトランプ占ふ
家々に風呂たぐ煙たちのぼるうす暗き空に星一つあり
師が古稀に詩魂たざらす姿仰ぎては吾身は老いしとはいはず

子供の顔にホクロがあった

香川外科 枝村道平

今年正月三日、家族揃って四国の金比羅様へお参りをした。その往路の電車の中で、変な話がかかれた。私の真向いに坐った長男の顔に、ハナクソがついていた。

「ハナクソがついているよ」といふと、その子は手でぬぐった。が、とれないのだ。隣の長女が笑いながら、「ホクロだよ」と言った。本当にホクロだったのだ。それも鼻の下に二個、横に一個合計三個もあつたのだ。

ついで、その子の顔にホクロが

あろうとは知らなかった。そこで聞いてみた。

「いつからホクロがあつたの。その子が言った。「生まれつきでしよう」と。いや、そんなはずはない。多分つい最近、私が出産した。多分つい最近、私が気がつかない間に出来たものに相違ない。笑えないこの馬鹿げた実話は、おそろしく私の家庭ばかりではない。だるう。世の中が忙がしくなつた。世の父親は仕事、仕事、又仕事で、休む間もなく又仕事だ。「男は仕事」これはまあいいでしょう。しかし、今の子供たちにも大人の

一人である損をするから顔を隠して、群衆となつて暴れる。あばれ出せばもはや善悪の区別もなく、公共物といわず、私物といわず危害を加える。ストライキと称して、学校の机や椅子を持ち出し、サッサとパレケドを作り、警官が来れば、サッサと逃げる。これではもはや学生ではない。しかも自分の机でパレケドを作つたという話も聞かないし、自分の車に火をつけたという話も聞かない。パレケドを作るのなら、下宿から自分の机を持ち出して来て、それで作つてもらいたいものだ。そしてこれらの暴挙は、もはや数年に及んでいる。しかし政府も大学当局も、なんら有効の手を打つていない。

これではいよいよだ。彼等を放置してはいけぬ。しかし罰するだけでは、根本の解決にはならない。政府はしっかりとしなければならぬと思ふ。そしてわれわれ全国民が、教育者も、社会も、家庭も、すべてが真剣に取り組んで、その根本問題

を解決しなければならぬと思ふ。都会に青空をとり戻す運動も、ようやくその緒についた。しかし青年に青春をとり戻す運動は、未だに目覚める気配もないかのようだ。その時期を失す感、政治に対し、社会に対し、不信感が生れて来る。医療制度もそうだ。今の制度は末期症状だ。何とかせねばならぬところに来てゐる。

しかしその解決策が本當にむずかしいのだ。今の自由世界では、どの国も医療で悩んでおり、手本となる国がないのだ。しかし、何とかせねばならない患者にあって、よい制度でなくはならない。また、われわれ医療人にとつても、よい制度でなくはならない。

△付記△
もしも救急医療等についての御質問があれば、未熟者ながら、雑談形式で会をもつてもよいと思ひます。



施設・環境・人材が日本一

最高の庭球クラブが誕生

シヨコー産業K・K 熊沢信行氏

篠山に現在工事中の湘南ローンテニスクラブは、施設、環境、人材ともに日本一との評判であるがこの建設、経営に当たっているシヨコー産業K・Kの熊沢信行氏を訪ね、詳細について伺った。

(1) クラブ建設の動機は？

市の北部開発が叫ばれている折柄、何か社会に奉仕することはと考へ、自分がテニスが好きなので山を開発してテニスコートを作ること計画した。また友人や知人からの勧めもあったし……

(2) クラブの概要は？

(1)敷地は二二、〇〇〇平方メートル(五〇〇坪) (2)コートはクレー二面・ローン一面・ボールド二〇面 (3)練習コート一面 (4)クラブハウス六〇〇平方メートル(一八〇坪) (5)シャワー・ロッカー(五〇〇名) (6)プール、大人用二五〇名、子供用一〇〇名 (7)駐車場一五〇台 (8)ナイター設備 (9)テニスコート(三面建設予定)

(3) 総工費はいくらですか？

二億五千万円の予定です。

(4) どこに特色がありますか？

環境も施設も従業員も、すべてが日本一ということ。まず環境については、先日も鎌倉在住の大学生が建設現場を見に来た帰りに寄られて「最近軽井沢や山中湖畔などに庭球コートができてきたが、ここはあまり高い所ではないのに、何か高原の感じがしてすばらしいですね」といったので、非常な自信を得ました。山林伐採以前は四方何も見えない場所だったが、造成半ばでは私に茅ヶ崎にもこういう場所があったの

かと大発見をしたような自己満足に浸っている時に、高原の味がすると第三者からいわれたことは、何ともいえない感動を覚えた。空気がきれいで展望が良かったためにうしろの錯覚が起きるのかもしれない。北は用田から相模原方面、北西に続いては津久井方面から大山丹沢・富士箱根伊豆の山々などが一望できる。クラブハウスができたら大島・江の島・三浦半島など相模湾の全貌が展望されること

しょう。附近に高層建築物が建たないかぎり、このすばらしい眺めは永久に失われたいです。施設についても、十一月二十八日の地鎮祭の時に全工事を請負った奥アンソウカ・K社長の奥氏が、「国内や外国でもこれだけ設備の整ったテニスクラブは一般には少ないでしょう。厳しく会員制限をしているアメリカの名門クラブに負けないような最高のものが出現しますね。すばらしいコート



〔右端が熊沢信行氏〕

を実現してみますから御期待下さい」と言明された。奥氏の父君は二、三年前他界されたが、神官であつたが、テニスコート造りにのりだされた当時、神戸に外国のアソビカー方式をとり入れて作ったのが日本最初のもので、以来研究を積み重ねた。グラウンド造りに専念、国際競技場・各府県の国体競技場等多くを手がけている。先年その功績により叙勲の栄に浴された。現社長眞純氏も父君に劣らぬ研究者で、国内は申すに及ばず東南アジア諸国にも進出されている。専門メーカーだが、この社長が大鼓判を押し、完成したら航空写真をとって自社のP・Rに利用させて頂くといわれた。工事責任者もテニスマンで数々の体験を持つ極めて誠実な技術者なので全員の信頼を寄せている。

従業員も皆茅ヶ崎テニスクラブの人たちで、テニスが上手で好きでたまらないという二十代の人ばかりというのも特色といえる。

(5) 経営のみとおしは？

実際開いてみないとわからないが、採算上から考えた場合には、

声

交通委員に望む

主要道路を安全に

交通委員会が発足したとのことですので、緊急に次のことをお願いしたいと思つています。
一 香川駅附近は「香川の顔」である。一 駅から北陵高校まで、駐車のため道幅が三分の一ふさがっている所が、方々にある。交通頻繁の折からたいへん危険である。駅の西側でさえくさりてふさいである。一 ガラス屋の下に汚いドラムかんが堂々と置いてあるが、香川には他にこのような所は一軒もない。終日駐車しているのは、この店と化粧品屋で、酒屋は良心的である。一 沿線も駐車が多くなつてきた。シヨコーストア附近は、夕方など

全くお話にならないと思う。ローンなので範囲は限定されているが一つの社会奉仕の気持ちで踏みきつた。本格的なクラブ組織による経営は、会員に対する大きな奉仕と考へられるが、会員の異動、ピジターの交流等によつて、知名度は国内に無限大に拡がる可能性もあり、ハイクラスの人達との交流こそは誰もが望む所で、そこには何か開ける夢が持てるのではないでしようか。ドルジョックで一時は考えさせられたが、思いきって初期の路線を進むことに決意し描いた夢の実現に邁進している。

一 町民氏に回答
ご提言ありがとうございます。仰せの通り、最近間門線、西方線

定です。第二次会員は、正会員の入会金五万円、入会保証金十五万円、会費月額三千五百円。家族会員は二万円、八万円、二千五百円。平日会員は二万円、五万円、二千円となつており、入会保証金は、退会する時にはお返しいたします。
(7) 収容人員は何名ですか？
五〇〇人です。
(8) いつオープンするのですか？
四月十六日の予定です。
(9) オープンしたら交通量がふえると思つて、事故防止対策とか、何か地味に要望することがありますか？
道路から現地入口の所に、大きな鏡をつけてもらうようにして事故防止を考えたい。
このクラブ開設は、元デ杯選手元世界ランク第七位山岸二郎氏、衆議院議員河野洋平氏、国大附属中学校校長、県社会教育委員連絡協議会会長宮武氏などはじめ、各方面の方から期待が寄せられています。

編集後記

今回は新人の方に御寄稿いただき、バラエティに富んだ紙面になったことを感謝いたします。次号は四頁の予定です。どうぞお返りして玉稿をお寄せ下さい。一切りは二月二十日、宛先は中通り一三一九伊東信子または広報委員。

△自治会より▽